



2月園だより

令和6年2月1日
目黒区立原町保育園園長

昨年11月からの園舎の塗装工事につきましてはご迷惑をおかけしました。無事に1月末で終了となり、園舎が見違えるように明るくきれいになり、館名板も新しくなったことで「あれ、変わったね。きれいになったね」と変化に気づく声が聞かれます。登降園時等でのご協力ありがとうございました。

1月中旬以降本格的な寒さ到来で初雪も降りましたが、天気良ければ「いってきま〜す」と元気に公園へと出かけていく子どもたちです。歩き始めは「寒いね」と肩をすぼめていますが、広場で準備体操をしてから風揚げやおにごっこで走り回るとすぐに体もぽかぽかになり「ただいま〜」「たくさん走ってきたよ〜」と公園での出来事を話してくれる子どもたちには笑顔があふれています。

先月から各クラス懇談会を実施しています。5歳児クラスでは会の最後に親子対抗ドッジボールを行いました。当日の話題はドッジボール一色でした。「絶対負けない!」どうやったら勝てるかと作戦会議を開き、力を合わせてやる気満々です。子どもたちは本気モード全開で、狙いを定めてスピードのある変化球を投げてきます。お父さんやお母さんは投げる球に緩急をつけながら、童心に戻って本気で子どもたちと向き合って楽しめたのではないのでしょうか。どのクラスも保護者の方の参加は年々増えており、少しの時間でも保護者の方同士の交流が見られることは園としてもうれしく思います。同じ年齢の子どもを持つ保護者同士、これから先もずっと繋がっていきけるよう橋渡しになればと思います。

あと2か月で進級を迎えます。子どもの成長は目を見張るほどで、どのクラスの子どもたちも日々の生活や様々な経験を通して、“自分でできる”ことがたくさん増え、遊びや行事でそれぞれの力を発揮しています。慌たしくなる時期ですが、元気に笑顔で「楽しいね」と日々を過ごせるよう、心がけていきます。



- ※ 節分
- ※ おみせやさんごっこ
- ※ 2歳児クラス懇談会
- ※ 4歳児クラス懇談会
- ※ 避難訓練・身体測定



用務職員より

昨年11月に植えたチューリップが、暖冬の影響なのか昨年度よりも1ヶ月早く1月9日に発芽しました。この分だと、卒園式までに花を咲かせる可能性が高そうです。暖かさは植物だけに限らず、子どもたちの成長にも影響を与えるのではないのでしょうか。イソップ物語「北風と太陽」の話の中にある太陽のように、温かさは人の心を安心と開放感に変えます。保育園が太陽のような存在であるように、全職員が子どもたちの健康と成長の為、毎日心を配って仕事をしている事に用務職員もその一員として誇りを胸に楽しく子どもたちと接しています。先月末には、子どもも大人も真剣勝負を楽しんだコマ回し大会があり、これから節分行事もあつたりと行事も目白押しです。いろいろな事に挑戦しながら、成長していく子どもたちとの日々の関わりを用務職員一同、これからも楽しみに園内の安全で安心な環境作りに努めていきたいと思ひます。

藤原敬三



小坂和則



池田つね子

室内でも体を動かして遊んでいます

寒くても天気が悪くても、子どもたちのパワーは変わらず元気いっぱいです。室内やホールを使って乳児クラスの子どもたちが楽しく遊ぶ様子を紹介します。

『 かわいい おうまさん 』 **かえで組（0歳児クラス）**

「がんばれ！がんばれ！」階段の踊り場で保育士の掛け声に合わせて手をパチパチしながら、上ってくる友達を待っています。みんな上りきると「きたね」とみんなで拍手です。四つ這いから歩行へと大きな成長を遂げる0歳児クラスの子どもたちです。3階まで48段、往復96段あり、途中の踊り場では調理さんに挨拶したり、タペストリーを見たり、リズムの♪おうま♪のうたに合わせて、毎日楽しみながら四つ這いで上り下りの経験をしてきました。先日初めて全員で上り下りして帰ってきました。保育士が「すごーい」と喜んでいると、子どもたちもその雰囲気分かってにっこりしていました。歩くことやつかまり立ちが楽しくて仕方ないかえで組の子どもたちですが、トンネルくぐりや斜面のぼりなど楽しい遊びの中で四つ這いをたくさん経験していきます。



『 いろいろなものになりきって 』 **くるみ組（1歳児クラス）**

リズム遊びは好きな遊びの一つです。中でもトンボは子どもたちが大好きで、曲が流れると両腕を羽のように広げて走っています。キリンは両腕を上上げて、長い首を表現して歩きます。「お首が長いキリンさんね」と言うと、子どもたちは更に腕を上げて保育士にアピールして歩いています。保育士の「ピッ」という声を聞くと止まることがわかり、歩くスピードをゆるめて歩くのをやめ止まることもできるようになってきました。翼のように横に広げて「びゅーん」と飛行機のように走って楽しむ子や「♪ちようちょ〜」と歌いながら両手をパタパタと羽のようにはためかせ蝶になりきる子など、オリジナルの遊びも見つけて楽しんでいます。子どもたちの自由に広がるイメージの表現に共感し一緒に体を動かしながら、表現遊びを楽しんでいきたいと思えます。



『 大好きな友達と一緒に 』 **いちよう組（2歳児クラス）**

「ホールに行ってリズム遊びをしようか」と声を掛けると「やったー」と急いでホールに行く準備をしています。グループごとに壁際に座り、ピアノの合図で立つと「何の曲かな」と耳を澄まして集中しています。曲が流れると「あ、うさぎだ」と気づき「先生見て。ぴょんぴょんうさぎだよ」と両手を耳のように動かしながらジャンプして可愛い姿を見せてくれます。ふねの曲が流れると周りを見回し「〇〇ちゃん一緒にやろう」と友達を誘い二人組で向かい合って座ります。「しゅっぱーつ！」と曲に合わせて動き、だんだんとピアノの速度が速くなってくると「うわあ〜」と二人一緒に床に寝ころび「あはは」と笑い合っすぐに「もう一回やろう」と始めています。これからも友達と一緒に
行う楽しさを感じながら体を動かしていきたいと思えます。

